

平時及び緊急時のいずれも対応可能な、石綿健康被害判定に係る審議会の運営方式を構築します。

1. 事業目的

石綿健康被害判定業務のICT化（判定に関する遠隔会議システム等の導入）を推進することにより、当該業務に必要な審議会の運営等に要する業務負担や経費を抑えつつ、一回の審議で処理できる案件数を増加させる。また、Web方式での会議にも対応することで、平時・緊急時に関わらず審議を継続し、より迅速かつ着実な救済を図る。

2. 事業内容

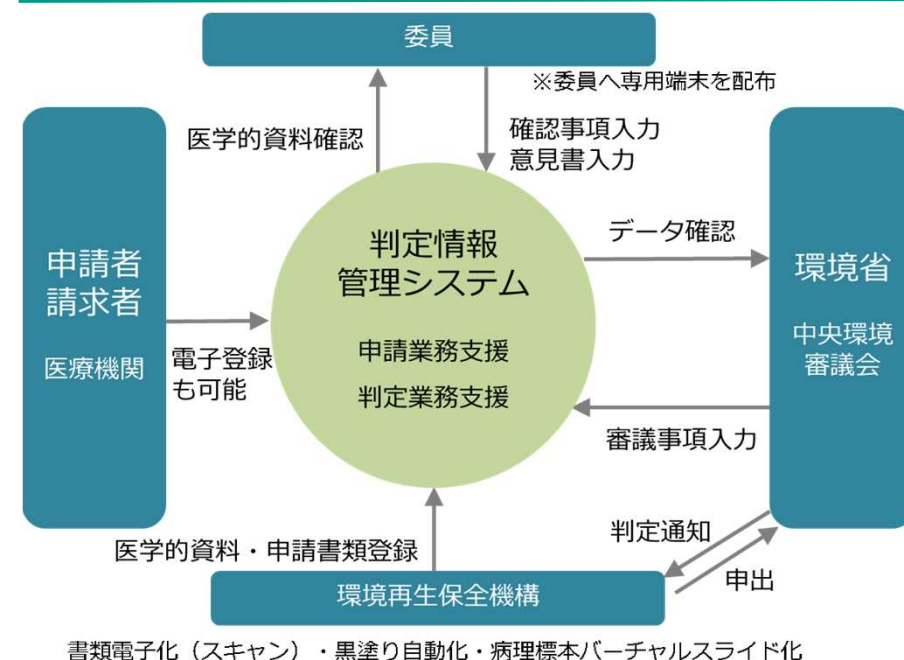
石綿健康被害の判定に当たっては、現状、審議会において標本の確認を顕微鏡を用いて行う必要があり、現行のシステムでは電子化やweb方式での会議に対応できない。そこで、標本画像を読み込み電子化する最新のバーチャルスライド装置を導入する。

また、現行のシステムでは容量が大きくwebによる共有が難しい放射線画像や標本画像の電子データについて、大容量クラウドサービスを活用したシステムを構築することにより、web上での審議会関係者への共有を可能とする。あわせて、審議会委員の意見書作成及び判定結果の記入や、環境再生保全機構（石綿健康被害救済の申請窓口）から環境省への申請書類等の電子的共有も当該システム上で行うこととする。これにより、情報の共有・閲覧を一元化し医学的判定業務の円滑な運用を進めるとともに、資料の輸送等に伴う情報リスクの低減を図る。なお、本システムは将来のAI読影技術導入にも対応することを見据えた設計及び運用を行う。

3. 事業スキーム

- 事業形態 請負事業
- 請負先 民間事業者
- 実施期間 令和2年度

4. 事業イメージ



判定情報管理システムの機能範囲

ネットワーク外

ネットワーク内



申請者

申請書

判定結果

申請者とのやり取りは書面で実施

環境再生保全機構



OA端末

専用端末
+ 高精
ディスプレイ

バーチャル
スライド
スキャナ



環境省



OA端末

専用端末
+ 高精
ディスプレイ



ネットワーク



ネットワーク

判定情報管理システム(本システム)

申請者情報管理機能

文書管理機能(判定票、意見書など)

ワークフロー機能

画像管理システム(X線・CT画像、病理標本)

スケジュール調整機能

Web会議機能



ネットワーク

専用端末
+ 高精
ディスプレイ



委員
(審査分科会・
判定小委員会)

※ エックス線・CT画像、病理標本等を参照するため、専用端末とは別に読影用高精彩ディスプレイを調達する。

将来的に直接連携する可能性あり

認定給付システム

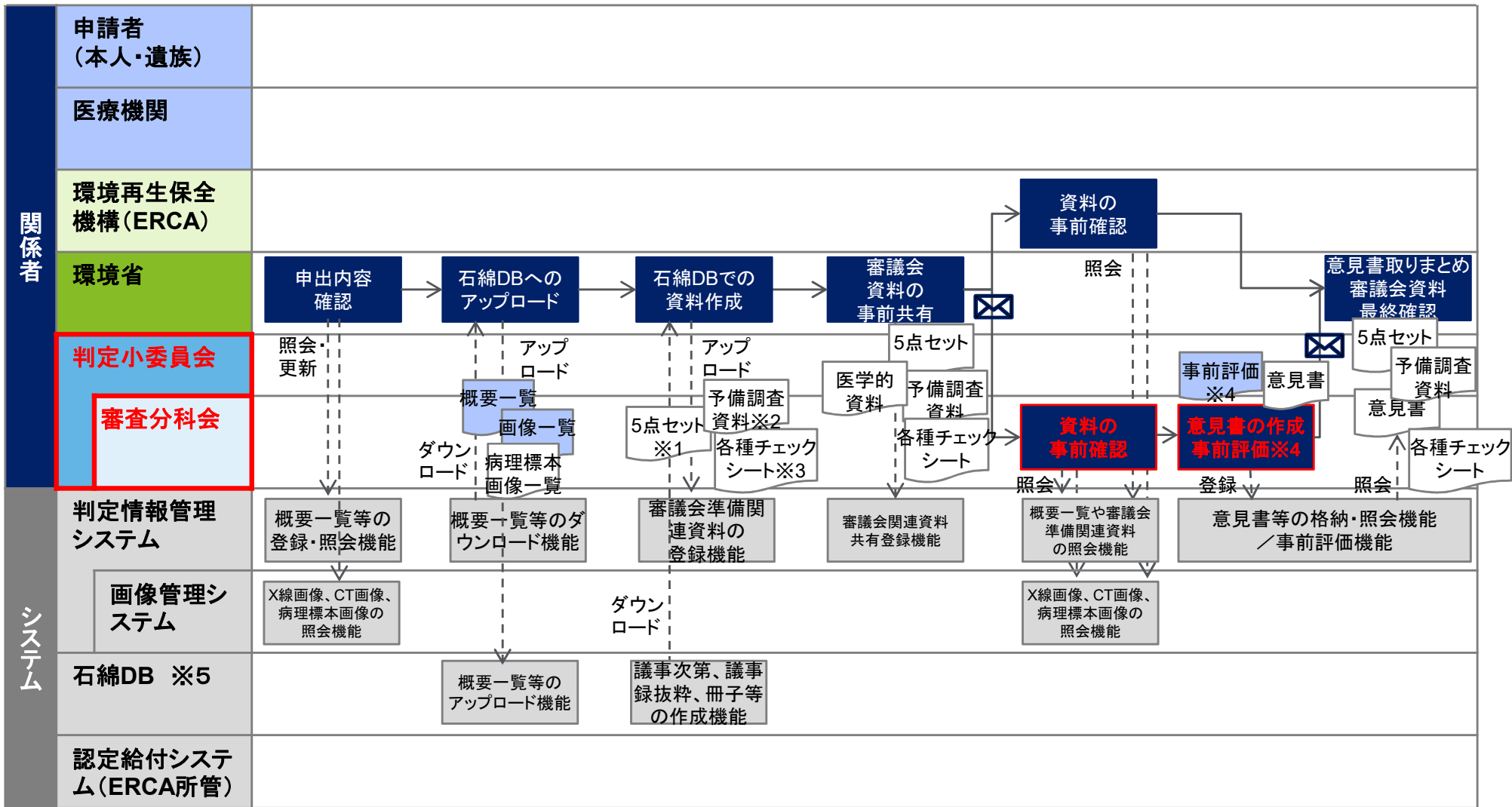
(環境再生保全機構所管の既存システム)

判定情報管理システムとのデータ連携機能

【重要】

- 委員はセキュリティの観点から、自身のPC端末等から判定情報管理システムにアクセスせず、**専用端末にてシステム参照や、意見書の作成・アップロードを行う。**

審議会実施準備の流れ



※1 5点セットは、概要一覧、画像一覧、病理標本一覧で構成され、申出単位のことを審査分科会の対象案件単位に石綿DBで集約・加工したもの。

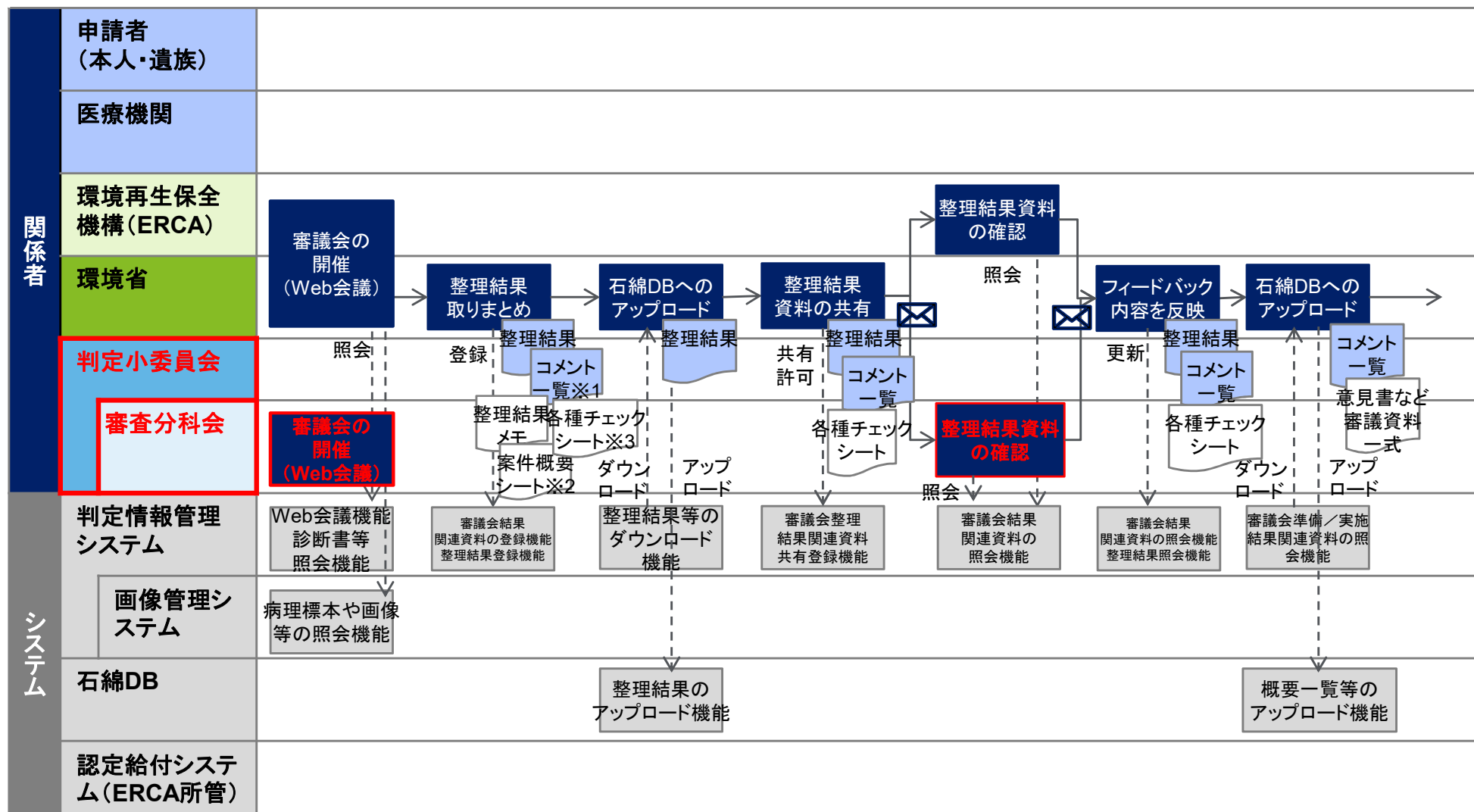
※2 予備調査資料は、議事次第、冊子、議事録抜粋等で構成され、石綿DBで作成する。

※3 中皮腫の場合、「中皮腫チェックシート」を作成。石綿肺、びまん性胸膜肥厚の場合、「石びチェックシート」を作成。肺がんの場合には作成しない。

※4 審査分科会の開催前に、委員による事前評価(◎、○、△)等を行う。区分は設計フェーズにて定義。

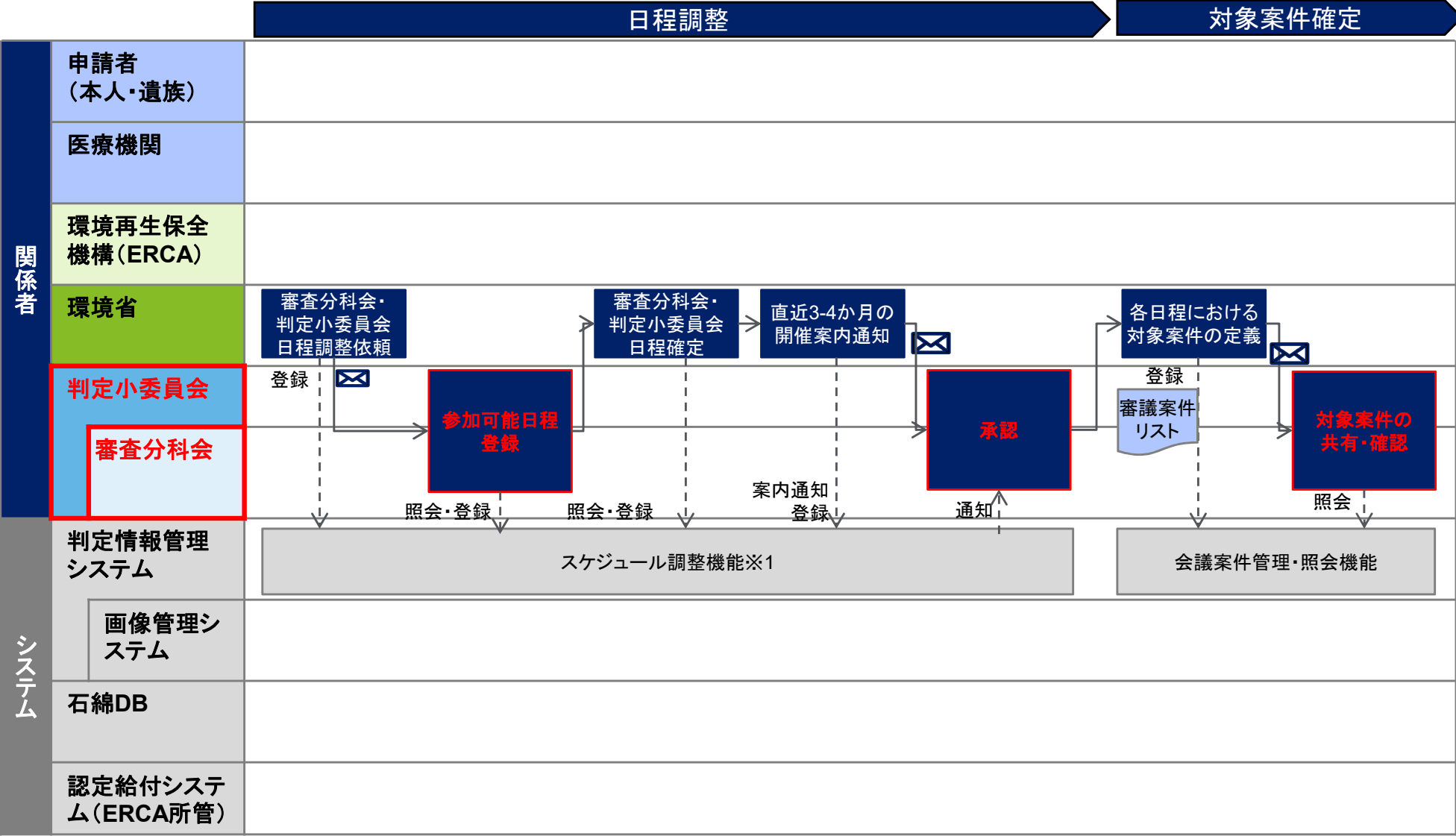
※5 石綿DBは、判定業務に関する情報が保存された環境省が保有するデータベース

審議会開催の流れ



- ※1 コメント一覧とは、概要一覧のコメント欄に審査分科会の整理結果を記載したものを指す。システム上、「概要一覧登録画面」から登録を行う。
- ※2 案件概要シートは一時的な資料であるため、判定情報管理システムにはアップロードせず、環境省内のフォルダーにて管理する。
- ※3 中皮腫の場合、「中皮腫チェックシート」を作成。石綿肺、びまん性胸膜肥厚の場合、「石びチェックシート」を作成。肺がんの場合には作成しない。

審議会日程調整の流れ



※1 審査分科会・判定小委員会の日程調整や案内などは、判定情報管理システムの仕組みを活用する。
また、日程調整の際、期日までに委員・専門家から回答がない場合は、リマインドメールが自動配信される。

システム画面サンプル① 概要一覧

石綿健康被害判定情報管理システム

[概要一覧](#) > 概要詳細画面

概要詳細（申出番号：311-6202017）

申請書番号	申出番号	申出種別	年齢
02202017	311-6202017	中皮腫	86
死亡時年齢	死亡年月	頁番号	判定申出事項
判定日	判定理由	申請日・請求日	申出日
2021年7月16日		2021年7月16日	2021年7月16日
判定資料パス			

病理別情報(中皮腫)

No.	原発部位	組織	X線画像	C T画像	その他画像等	その他添付資料	備考
1							

戻る

編集

削除

- ・ 審議順ごとに当該申出番号のデータが表示されるよう設定します。
- ・ 審議の進捗に応じて、ページ送りを行うことが可能です。

システム画面サンプル② 画像一覧

石綿健康被害判定情報管理システム

画像一覧 > 画像詳細

画像詳細 (申出番号:111-1111111)

申出番号

111-1111111

申請書番号

11111111

← 前へ

次へ →

No.	X線画像				CT画像				その他検査画像				備考
	部位	媒体	フィルム枚数	検査日	部位	媒体	フィルム枚数	検査日	検査名	媒体	フィルム枚数	検査日	
1	胸部2	CD-ROM_2	2	2020/07/16	胸部1	CD-ROM_1	1	2021/07/17	検査名1	CD-ROM_3	2	2019/07/16	
2					胸部1	CD-ROM_1	1	2021/07/17	検査名1	CD-ROM_3	2	2019/07/16	
3					胸部1	CD-ROM_1	1	2021/07/17					
4					胸部1	CD-ROM_1	1	2021/07/17					

戻る

削除

追加

- 媒体の項目をクリックすると、当該媒体の画像データが自動で読み込まれます。
- 審議の進捗に応じて、ページ送りを行うことが可能です。

システム画面サンプル③ 病理標本一覧

石綿健康被害判定情報管理システム

病理標本一覧 > 病理標本詳細画面

病理標本
サムネイル表示

申請書番号	申出番号	作成日
22222222	222-2222221	2021年7月16日 11時11分
標本総計	会議体略称	会議体略称
39		

← 前へ
次へ →

病理標本詳細

内訳	確認	枚数	備考	検体情報
P-HE	確認確認	1	P20000454	R2.1.29TBLB左胸膜
EVG		1	P20000454	R2.1.29TBLB左胸膜

戻る
病理標本詳細新規

- 抗体名をクリックすると、当該病理標本のバーチャルスライド画像が表示されます。
- 分科会においてはバーチャルスライド画像をご確認の上で、審議を実施します。
- 小委員会においても原則はバーチャルスライド画像での審議を予定していますが、病理標本の検鏡が必要と判断される場合は、病理委員のみ参集形式に切り替えます。
- 審議の進捗に応じて、ページ送りを行うことが可能です。

システム画面サンプル④ ご意見書登録画面

石綿健康被害判定情報管理システム

意見書 > 意見書新規

意見書（意見書No:、会議体No:）

* 意見書No	会議体No	会議体略称	申出番号
申請書番号	依頼種別	業務プロセス	
	▼	▼	
ステータス（大区分）	意見者氏名	意見書日付	
		2021年7月22日	
意見書件名	意見書資料名		

アップロードするファイルを選択して下さい

📎 ファイルのアップロード

意見書概要	備考

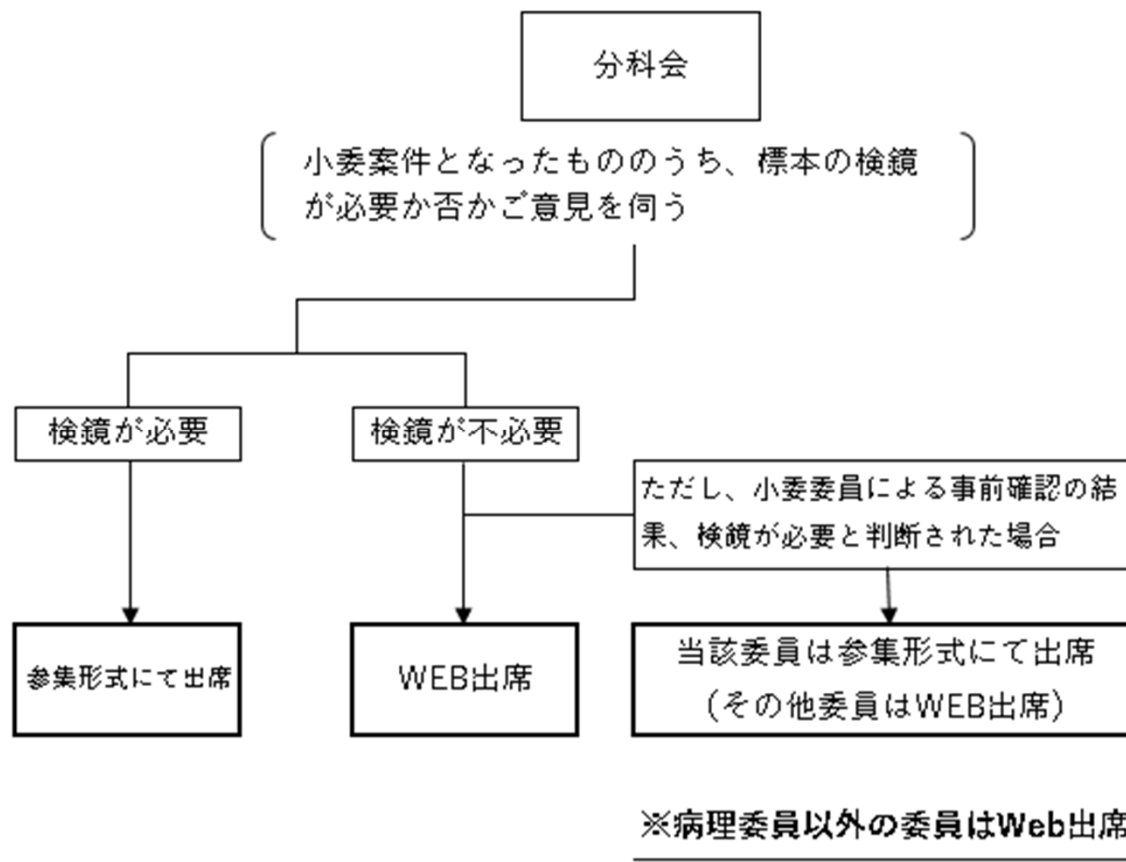
戻る 保存

- 専用端末を通して、ご意見書作成の依頼を行います。
（別途、登録メールアドレス宛にご意見書の作成を依頼するメールをお送りします。）
- ご意見書を作成されましたら、専用端末を通して石綿室へお送りください。

これまでの審議会運営方法との相違点

- 原則(P11スライドの場合を除き)参集形式による審議会は行わず、WEB会議形式となります。
 - ※システム稼働後、WEB形式と参集形式を併用した移行期間を設けます。
 - 紙媒体の資料やHDD(ハードディスク)について、システム運用後は郵送せず、資料は全て専用端末からご確認いただきます。
 - ご意見書等のやり取りも専用端末を通して行わせていただきます。
- ※ 専用端末は、臨床、病理、放射線、呼吸機能が専門の委員にお配りします。
- ※ 病理標本等に関するご意見書の作成に当たっては、これまで通り病理標本の現物をお送りします。
- ※ 計数又は個別意見書の作成を依頼している委員とのやり取りは、専用端末を通すことなく、これまでと同様の方法で行わせていただきます。

判定小委員会に属する病理委員の参集について



- 参集又はWEB形式のいずれによる開催かの決定は、事務局から病理医員に対して小委員会開催の前月末までにお知らせします。
- 参集形式での開催であっても、バーチャルスライドによる確認で判定可能と判断される委員については、WEB参加によりご出席いただきます。

今後のスケジュール

実施時期	内容
2021年2月中旬	専用端末を委員へ配布
2月下旬	委員向けシステム研修会を実施 ・オンライン形式にて1～2回の開催を予定。 ・動画コンテンツによる視聴も可能。
3月～	システムを用いた審議会運営を開始（仮運用）
4月～	システムの本稼働開始

※ スケジュールは現時点における想定のため、変更される可能性があります。
詳細なスケジュール等が確定しましたら、改めてご案内いたします。